### 2005年5月16日

## 2005年3月期 決算説明会

業績の状況

新中期経営計画「キョーリンMIC-'09計画」

主要開発品の状況

杏林製薬株式会社

### 2005年3月期決算概観(連結)

売上面では、国内新薬医療用はキプレス・ムコダイン等呼吸器系薬剤が堅調に推移し528億円(前年比2.5%増) となり、海外新薬医療用は、ブリストル・マイヤーズスクイブ社およびアラガン社向けの輸出が増加し88億円 (前年比3.6%増)となりました。その結果、連結売上高は663億円(前年比1.9%増)となりました。

利益面では、研究開発費の投資拡大により販管費が大幅増となり、連結営業利益は59億円(前年比33.1%減)となりました。当期純利益は、特別利益約18億円・特別損失約43億円を計上し、20億円(前年比64.6%減)となりました。単体では、売上高649億円(前年比2.1%増)、営業利益59億円(前年比32.8%減)、当期純利益16億円(前年比70.7%減)となりました。

来期連結業績予想は、東洋ファルマー社の子会社化により同社を連結対象(決算期変更に伴い8ヶ月間)とし、連結売上高710億円(前年比7.1%増)を見込みます。利益面は、研究開発費は減少するものの販売費等の増加により連結営業利益58億円(前年比1.1%減)、連結当期純利益33億円(前年比63.9%増)を見込んでいます。

単位: (百万円)	02年3月期	03年3月期	04年3月期	05年3月期	前年比	連単倍率	06年3月期 (見込み)	前年比
売上高	62,395	68,618	65,061	66,296	1.9%	1. 02	71,000	7.1%
営業利益	11,961	12,367	8,766	5,866	▲33.1%	0. 99	5,800	<b>▲</b> 1.1%
経常利益	12,210	12,805	8,597	6,430	▲25.2%	1. 12	6,200	▲3.6%
当期純利益	4,117	4,120	5,692	2,013	▲64.6%	1. 25	3,300	63.9%
EPS	※60.55円	47.21円	68.76円	26.48円	_	1. 25	43.82円	_
総資産	134,472	139,961	121,355	109,234	▲10.0%	1. 03	_	_
株主資本	102,356	105,318	91,856	90,544	<b>▲</b> 1.4%	1. 02		_

### 2005年3月期 業績の状況(連結)

単	欱	億	Ш
Ŧ	14	心心	IJ

	04年3月期(実績)	05年3月期(実績)	増減
売上高	651	663	+12
国内新薬医療用	515	528	+13
海外新薬医療用	85	88	+ 3
ヘルスケア他	35	33	<b>A</b> 2
関連事業等	15	14	<b>1</b>
営業利益	88	59	<b>▲</b> 29
経常利益	86	64	<b>▲</b> 22
当期純利益	57	20	<b>▲</b> 37

```
対前年
                                 対見込
売 上 高
         663億円
                           (+12)(+11)
国内新薬医療用 528億円
                           (+13)
                04.3実績 05.3実績
 ・キプレス
                   9 8
                       118(+20)
                  180
 ・ムコダイン
                       190(+10)
 ・ガチフロ
                         23(+
                   1 7
                               6)
                         10 ( 15)
 国内新薬医療用その他
 *契約一時金の減少
 海外新薬医療用 88億円
                               3)
 ・ガチフロ
 *アラガン社点眼剤「ザイマ-」堅調、バルク先行出荷
          3 3 億円
 ヘルスケア他
                               2)
                   2 7
                         23 (
 ・ミルトン
          14億円
 関連事業等
原 価 率:前年比 0.2ポイント減少(34.4% 34.2%)
*薬価改定(3.7%)の影響や一時金収入の減少はあった
 ものの、原価の低い国内医療用医薬品は順調に推移
 野木工場人員 約80名の早期退職等により上昇を抑制
研究開発費率:前年比 6.6ポイント上昇(12.6% 19.2%)
*82億円 127億円(約45億円増加)
 2品を申請、ActivX社の子会社化
 販管費率(除R&D費):前年比 1.7ポイント低下(39.5% 37.8%)
*人件費、一般管理費等の削減努力により
 販管費(除R&D費)は257億円 250億円となった
営業利益
          5 9 億円
                             29)
 * 営業利益率は8.8%と4.7ポイント低下
                                    2)
当期純利益
          20億円
                             37)
特別利益:約18億円・投資有価証券売却益(約17億円)
                                   13)
 特別損失:約43億円・原末製造設備の除却(約11億円)
             ・退職給付制度移行損失(約16億円b)
 配当 18円00銭 配当性向 68.0%
```

### 2006年3月期 業績の見込み(連結)

224	14		土	_
里	111	: 1	恳	Н.

			平世. 尼门
	05年 3月期 (実績)	06年 3月期 (見込み)	増減
売上高	663	710	+47
国内新薬医療用	528	538	+10
海外新薬医療用	88	75	▲13
ヘルスケア他	33	35	+ 2
関連事業等	14	62	+48
営業利益	59	58	<b>A</b> 1
経常利益	64	62	▲ 2
当期純利益	20	33	+13

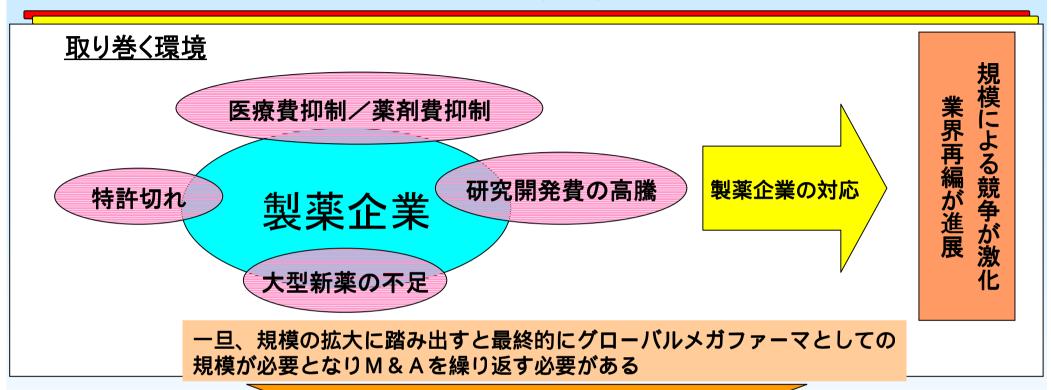
売 上 高 710億円	(+47)
国内新薬医療用 538億円	(+10)
05.3実績 0	
・キプレス 1 1 8 ・ガチフロ 2 3	1 2 6 ( + 8 ) 2 6 ( + 3 )
・ガチフロ 2 3 ・ペンタサ 6 4	26 ( + 3 )
海外新薬医療用 75億円	69(+ 5) <b>( 13)</b>
・ガチフロキサシン 80	( <b>13</b> ) 67( 13)
* バルク出荷が前年を下回る	
ヘルスケア他 35億円	( + 2 )
・ミルトン 23	24(+ 1)
関連事業等 6 2 億円	(+48)
*東洋ファルマーの子会社化(決算期変更; 8	3ヶ月間含む)
原 価 率・・・約3ポイント上昇 *原価率上昇要因;生産移管に伴う費用の増加研究開発費率・・・19.2% 14.6%:4.6ポークを開発費;127億円 104億円(23億円減) 販管費率(除R&D費)・・・約2ポイント上昇 *販管費率(除R&D費)増加要因; ウリトスプレマーケティング費用、新規製ためのアライアンス費用等先行投資を見	イント低下 事業獲得の
営業利益 58億円	( 1)
<u>* 営業利益率: 8 . 2 %と 0 . 7 ポイント低下</u>	
当期純利益 33億円	(+13)
配当 20円00銭 配当性向 45.6%	(見込み)

## 中期経営計画

キョーリンMIC-'09計画

(2005年度~2009年度)

### 勝ち残りのための製薬企業の戦略



勝ち残りのための キョーリン独自の戦略

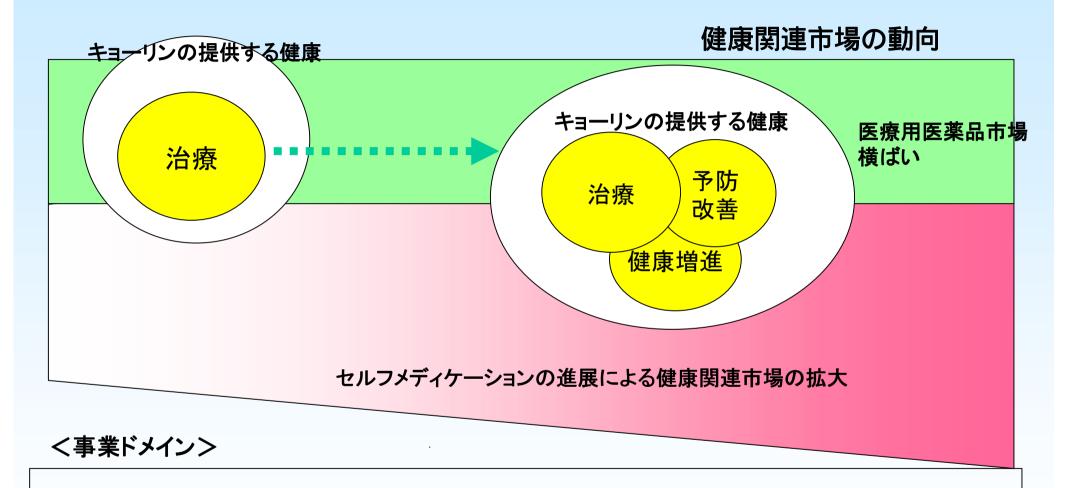
総合新薬開発型企業 医療用医薬品企業



創薬重点型企業へ 複合型ヘルスケア企業へ

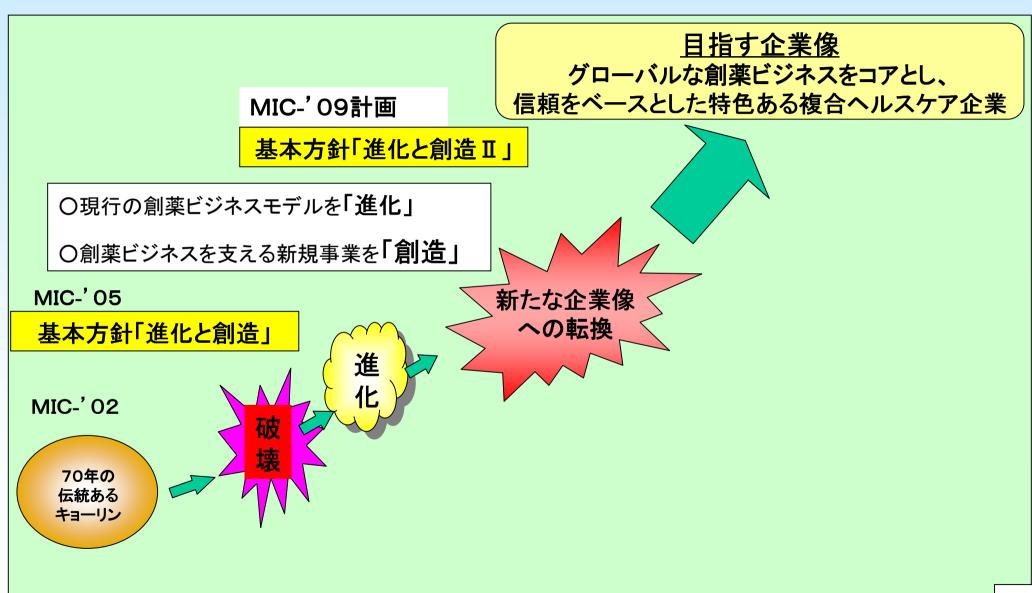
グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業を目指す。

### キョーリンの提供する健康



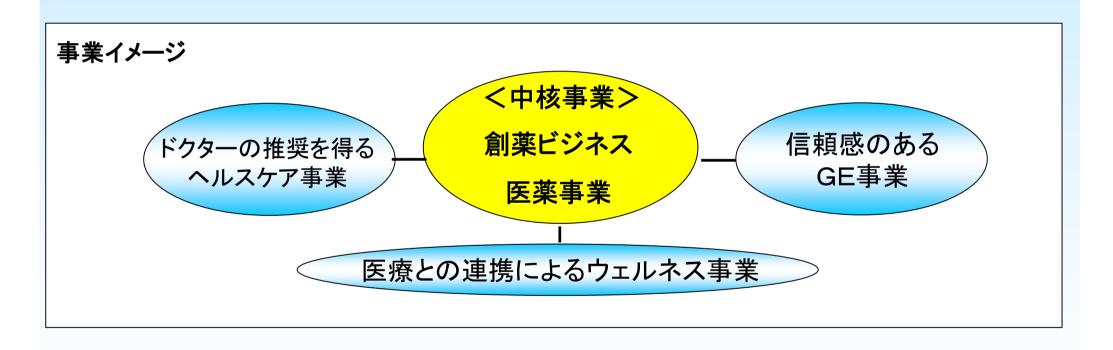
科学的エビデンスのある製品(サービス)を医療と連携で提供していく「信頼」をベースとした健康貢献企業

### MIC-'09計画は「新しいキョーリン像」への転換



### MIC-'09計画でのキョーリンの目指す企業イメージ

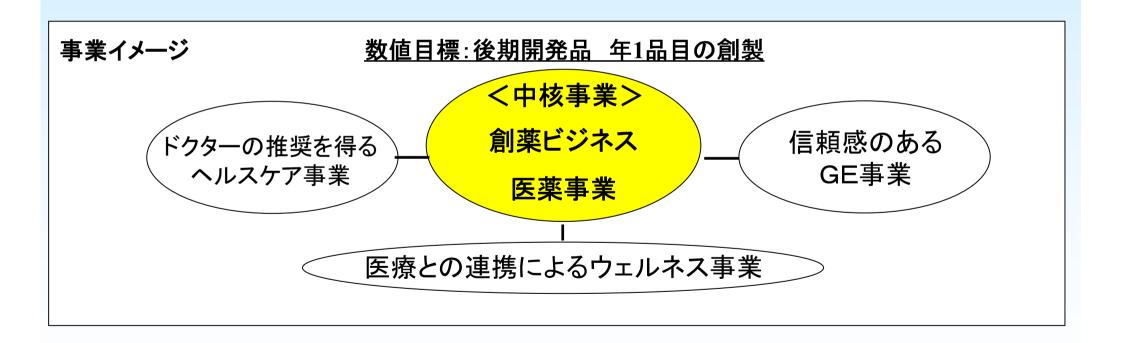
グローバル創薬企業としてのポジショニングの確立とハイリスク・ハイリターンかつ長期スパンである創薬事業を支える基盤として医薬事業の競争力強化・新規事業の構築を図る



### 1.創薬ビジネス/医薬事業への取り組み

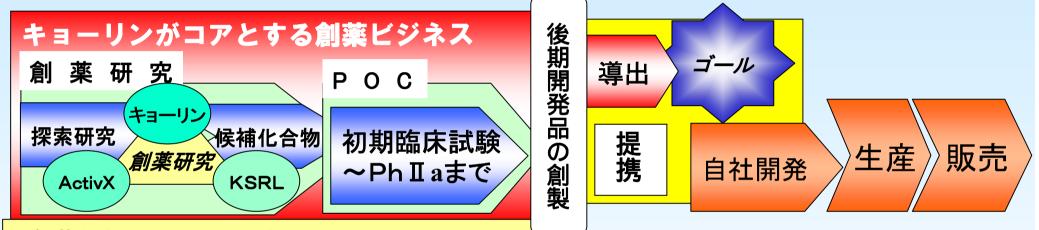
基本戦略1:グローバル創薬企業としてのポジショニングの確立

基本戦略2:創薬事業を支える医薬事業の競争力強化



### 基本戦略-1 **グローバル創薬企業としてのポジショニングの確立** ーキョーリンの考える創薬ビジネスモデルー

●総合新薬開発型企業から創薬重点型企業へ



創薬基盤:日・米・欧 3極体制

キョーリン創薬研究所(日)

ActivX社(米) スコットランド研究所(KSRL:欧)

領域: 感染症/免疫・アレルギー/代謝性疾患

開発: 探索研究からPOC(PhⅡa)までを強化

アライアンスの積極展開

後期開発品の価値の早期化/最大化

数値目標:後期開発品 年1品目の創製

### ActivX社の概要

会社名:アクティヴィックス バイオサイエンス社

設立:2000年8月

従業員 :約30名

事業内容:独自のプロテオミクス技術を用いた創薬ターゲットの探索と

化合物の評価

特長:世界唯一のABP技術(高速蛋白解析)を有しており、

①候補化合物の効率的なスクリーニング実施

②リード化合物のスピィーディな探索

共同研究先:米国ファイザー社他

●完全子会社化2004年12月

●プロテオミクス/ジェノミクスの開発拠点



- ■リード化合物(全く新しい構造の化合物)の探索
- ■リード最適化からPOCまでの期間短縮
- ・プロファイリング解析技術 ・バイオマーカーの探索

#### ②ActivX社特有の技術を最大限活用

- ■世界のグローバル企業との共同研究
- ■キョーリンの創薬展開の米国窓口

### 創薬投資を支える医薬事業の競争力強化

- ①国内営業基盤の競争力強化
- i)キョーリンを長期に支えてくれるユーザーとの関係強化 FC\*3科26,000名をコアとし50,000名を対象に
  - •面談率;100%、処方率;100%を目指す
  - -MR630名体制の構築
- ii )既存品へのライフサイクルマネジメントの強化 主力製品のライフサイクルプログラム実施
- ・ムコダイン ;慢性呼吸器疾患への有用性
- ・キプレス ; 小児細粒(4mg細粒)、アレルギー性鼻炎効能追加
- ・ガチフロ : 呼吸器感染症における有効性データ等
- ケタス : めまいに対する学術調査

#### MIC-'09計画の目標

- ・ムコダイン シェア45%以上
- ・キプレス シェア30%以上
- ・ガチフロ シェア10%以上

\*FC:フランチャイズカスタマーの略(呼吸器内科、耳鼻科、泌尿器科)

### 創薬投資を支える医薬事業の競争力強化

② 新薬ウリトスの収益の最大化



- ③ M&Aを含めたアライアンス戦略の推進
- i)FC3科における製品ラインナップ強化に向けた製品導入 (開発品/既発売品)
- ii)売上の最大化を図る販売提携の推進

### 2.新規事業への取り組み

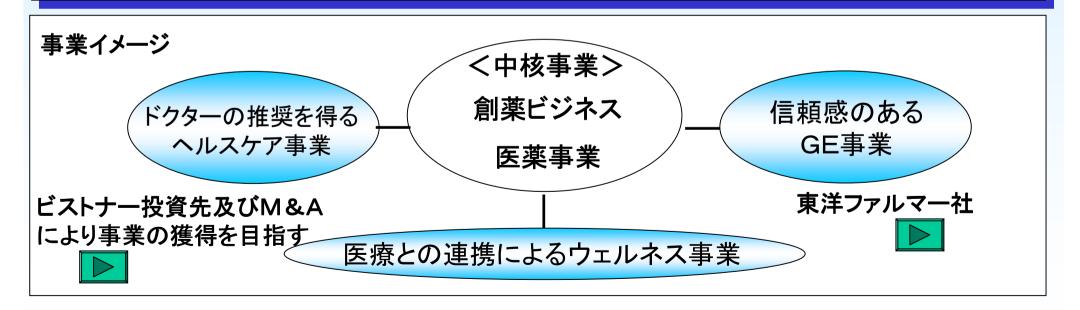
基本戦略3:医薬事業に次ぐ将来を担う新規事業の構築

企業理念を具現化し、かつ創薬ビジネスというハイリスク/ハイリターンモデルを補完し、企業の安定成長を図るために特色ある健康関連事業への進出を本格化する

新規事業領域:信頼感のあるGE事業

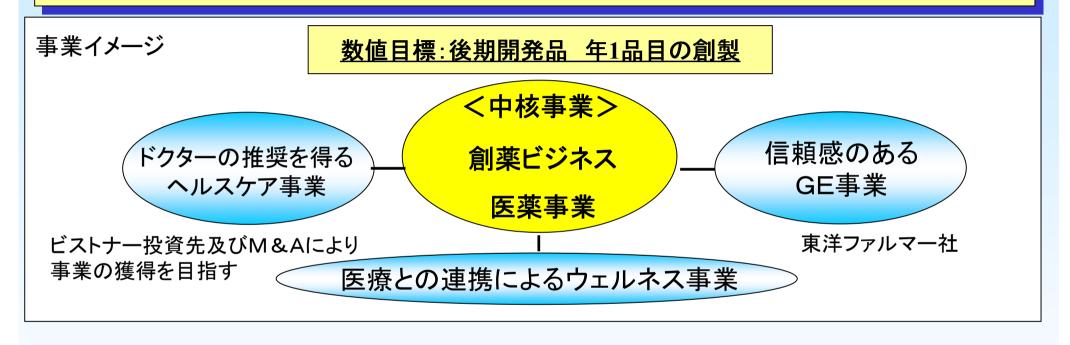
ドクターの推奨を得るヘルスケア事業

医療との連携によるウェルネス事業



### MIC-'09計画でのキョーリンの目指す企業イメージ

グローバル創薬企業としてのポジショニングの確立とハイリスク・ハイリターンかつ長期スパンである創薬事業を支える基盤として医薬事業の競争力強化・新規事業の構築を図る



規模としては連結売上高1,000億円(目安)



\* <株主還元策の強化>配当の方針:配当性向50%を目途

### 開発品一覧 (2005年5月12日発表)

			I	1	T.	
開発	段階	製品名•	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外	開発コード			13 13	, into -3
申請 (04年10月)	Ph I	ウリトス KRPー197 (錠)	過活動膀胱 治療薬	自社	抗コリン作用が強く、口渇等の副作 用軽減が期待される。	海外:英国においてPh I 終了 国内: 小野薬品工業と共同開発・ 共同販売(予定)
申請 (04年7月)		キプレス細粒 4mg モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	○ 剤形追加 ○ 新用量 ・万有製薬と共同開発
PhⅢ (04年10月)		キプレス錠 モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人:アレルギー性鼻炎 1日1回投与で、LTD4の遮断による鼻炎症状(鼻閉、鼻漏、くしゃみ) の改善と共に、眠気などの副作用 軽減が期待できる	○ 効能追加 ・万有製薬と共同開発
Ph皿 (04年1月)		ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤。	マルホと共同開発
Ph II (04年10月)	Ph II (04年10月)	N-5984 (錠)	糖尿病治療剤抗肥満剤	日清製粉	選択性の高いβ3受容体作動薬。 高血糖及び耐糖能、高インスリン血 症を改善すると共に血漿中TG、 FFAを低下させる。	日清製粉グル―プ 日清ファルマと 共同開発
* Ph II		AS-3201 (錠)	糖尿病合併症治療剤	大日本製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害 することにより細胞内のソルビトー ル蓄積を抑制し、糖尿病性神経障 害を改善する	大日本製薬と共同開発
	Ph II (04年6月)	KRP-101 (錠)	高脂血症治療剤	自社	PPAR α の選択的agonist。LDL コレステロールおよび中性脂肪を低下させ、HDLコレステロールを高めることにより、トータル的な脂質プロファイルの改善が期待できる。	

## 開発品一覧 (2005年5月12日発表)

### 導出品の状況(前臨床)

製品名・開発コード	導出先• 共同研究先	開発段階	薬 効	起源	備 考
未定	米国メルク社	_	合成抗菌剤	自社 米国メルク社	・共同研究 ・独占的ライセンスに関する契約締結(04年7月)
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	* Ph I	緑内障治療薬	米国アラガン社	<ul><li>・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス)</li><li>・千寿製薬に導出(04年5月)</li></ul>
ケタス	米国メディシノバ社	_	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造 販売権を供与(04年10月)
KCA-757	米国 メディシノバ社	* Ph II	気管支喘息 治療薬 間質性膀胱炎 治療薬	自社	・日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における 独占的な開発、販売権を供与

### ウリトスの上市戦略

### **◆ウリトスの承認時期(ベストシナリオ)**

05年度中の承認~06年度の上市を目指す

### ◆ウリトスの特長

(34人)

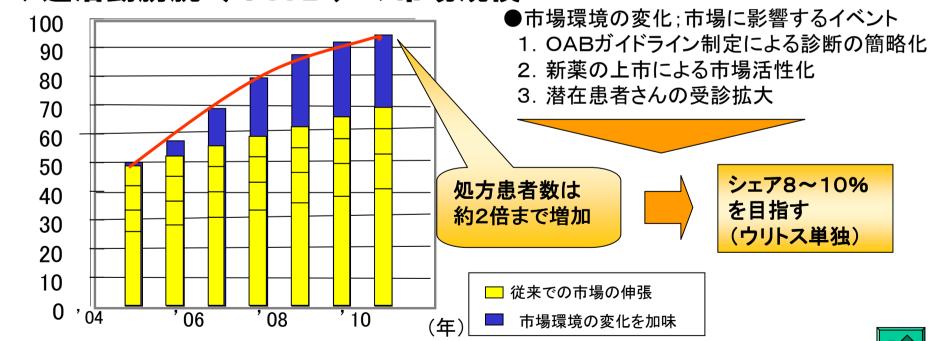
者数(

刪

処方

長期間安定した有効性を示し、口渇が少ない薬剤

### ◆過活動膀胱(OAB)の市場規模



市場規模約300億(O4年度) → 600億以上

### 新規事業の展開:東洋ファルマー社とキョーリンのシナジー効果

#### 東洋ファルマー社

● 企業概要

設立:1947年10月

資本金:5億円

● 04年5月期業績

売上高 : 64億円

経常利益 : 3億円

当期利益 : 2億円

総 資 産 : 85億円

株主資本 : 38億円



●株式取得比率

71.7%

### キョーリン製薬の支援

製品開発力の向上

·上市品目数拡大(自社開発)

営業力の向上

・卸の販路確保

・営業情報の共有

生産性の向上

・杏林からの委託製造による工場稼働率 up



### 主なビストナー投資先一覧

- 1. ビストナー事業ファンドの状況
  - ·設 立 2000年9月
  - ・出資額 50億円(既出資額 40億円 既投資額 24億円)
  - •対象領域 「医薬品関連」「医療関連」「介護関連」「健康関連」

合計23件投資 24億円

#### セーフテック

- ①15百万円
- ②無臭大豆粉の 製造販売等

健康食品 領域

### Dr<sup>'</sup> sコスメ 領域

#### ドクタープログラム

- ①219百万円
- ②スキンケア用品の 開発・販売

ドクター プログラム

#### 医療電子精工

- **1**)-
- ②C型肝炎 温熱治療装置開発 /

### 創薬関連 医薬品

#### 領域

**<医薬品領域>** ゲノム創薬など **4件** 

く医療領域>

代替医療 再生医療 ITなど **7件** 

<介護領域>

施設経営 在宅介護 関連製品など **4件** 

<健康領域>

食品

化粧品など 8件

- ①売上高
- ②主な事業内容

#### バイオセレント

- ①7百万円
- ②バイオ活用産廃 分解等

### 医療関連

(介護・診断・機器・サービス)

#### サンバイオ

- ①209百万円
- ②介護用トイレ等事業化

#### **JMA**

- (1)
- ②医療施設· 機器賃貸



# 2005年3月期 決算概要 財務諸表の概況

### 損益計算書の概要:連結 -

(単位:百万円)

	0 4年3月期		0 5 年 3 月期					
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額		
売上高	65, 061	100.0%	66, 296	100.0%	1.9%	1, 235		
国内新薬医療用	51, 546	79.2%	52, 820	79.7%	2.5%	1, 274		
海外新薬医療用	8, 533	13.1%	8, 838	13.3%	3.6%	305		
ヘルスケア他	3, 510	5.4%	3, 280	4.9%	<b>▲</b> 6.5%	▲229		
関連事業等	1, 471	2.3%	1, 357	2.0%	<b>▲</b> 7.7%	<b>▲</b> 113		

```
< 適応範囲及び持分法の適用について>
連結子会社6社:(株)杏文堂 (株)ビストナー .
        ビストナー壱号投資事業有限責任組合
        Kyorin USA, Inc Kyorin Europe GmbH
        ActivX Biosciences.Inc.
持分法適応会社2社:日清キョーリン製薬(株)
          日本理化学薬品(株)
<当期のポイント>
                      対前年
  売 上 高 66,296百万円 (+12億円)
  国内新薬医療用 52,820百万円 (+13億円)
          0 4 . 3 実績 0 5 . 3 実績
  ・キプレス
             98
                  118(+20)
  ・ムコダイン
            180
                  190(+10)
  ・ケタス
             7.0
                    66(4)
  ・国内医療用その他 25
                    10 ( 15)
  *契約一時金の減少
  海外新薬医療用
            8,838百万円 (+ 3億円)
  ・ガチフロ
             7 1
                    80(+9)
  *アラガン社 点眼剤「ザイマー」堅調
  ・ノルフロキサシン 11
                     4 (7)
  ヘルスケア他
            3,280百万円 (
                         2億円)
  ・ミルトン
             2 7
                    23(4)
            1,357百万円 (1億円)
  関連事業等
```

### 損益計算書の概要:連結 -

(単位:百万円)

	0 4年3	月期	0 5 年 3 月期				
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額	
売上高	65, 061	100.0%	66, 296	100.0%	1.9%	1, 235	
売上原価	22, 389	34.4%	22, 682	34.2%	1.3%	293	
売上総利益	42, 671	65.6%	43, 614	65.8%	2.2%	942	
販売費及び一般管理費	33, 905	52.1%	37, 747	57.0%	11.3%	3, 842	
(うち研究費)   	(8, 219)	12.6%	(12, 698)	19.2%	(54.5%)	(4, 479)	
営業利益	8, 766	13.5%	5, 866	8.8%	▲33.1%	<b>▲</b> 2, 899	
営業外収益	546	0.8%	818	1.3%	49.7%	271	
営業外費用 	715	1.1%	254	0.4%	<b>▲</b> 64.4%	<b>▲</b> 460	
経常利益	8, 597	13.2%	6, 430	9.7%	▲25.2%	<b>▲</b> 2, 167	
特別利益	5, 382	8.2%	1, 847	2.8%	▲65.7%	▲3, 534	
特別損失 	4, 506	6.9%	4, 266	6.4%	▲5.3%	▲ 239	
税金等調整前	9, 474	14.5%	4, 012	6.1%	<b>▲</b> 57.7%	<b>▲</b> 5, 461	
│ 当期純利益 ├─────							
法人税・住民税 及び事業税	3, 398	5.2%	147	0.2%	_	<b>▲</b> 3, 251	
法人税等調整額	383	0.6%	1, 851	2.8%	_	1, 467	
当期純利益	5, 692	8.7%	2, 013	3.1%	▲64.6%	<b>▲</b> 3, 678	

#### <当期のポイント>

#### 原 価 率:前年比0.2ポイント減少

(34.4% 34.2%)

\*薬価改定(3.7%)の影響や一時金収入の減少は あったものの、原価の低い国内医療用は順調に推移。 野木工場人員約80名の早期退職等により上昇を抑制

研究開発費率:前年比6.6ポイント上昇

(12.6% 19.2%)

\*82億円 127億円(約45億円増加)2 品を申請、 Act ivX社の子会社化

販管費率(除R&D費):前年比1.4ポイント低下

(39.5% 37.8%)

\* 人件費、一般管理費等の削減努力によりR&D除販管費 は約6億円減少

**営業利益 5,866百万円 ( 29億円)** 営業利益率は8.8%と4.7ポイント低下

#### 当期純利益 2,013百万円 (37億円)

特別利益:約18億円

・投資有価証券売却益 (約17億円)

特別損失:約43億円

・原末製造設備の除却 (約11億円)

・退職給付制度移行損失(約16億円)

・特別退職金 (約 4億円)

・投資有価証券評価損 (約 3億円)

·投資有価証券償却損 (約 3億円)

配当 18円00銭 配当性向 68.0%

### 貸借対照表の概要:連結

(単位:百万円)

	04年3月期			0	5年3月期	判	
	実 績	構成比		実 績	構成比	前期末増減	
流動資産	81, 198	66.9%		51, 782	47.4%	<b>▲29</b> , 415	
現金および預金 受取手形及び売掛金 有価証券 棚卸資産 その他流動資産	39, 235 22, 560 4, 221 9, 408 5, 772			8, 760 24, 655 3, 010 10, 152 5, 202			
固定資産	40, 157	33.1%		57, 452	52.6%	17, 294	
有形固定資産 無形固定資産 投資その他	14, 702 4, 858 20, 595			16, 997 5, 571 34, 883			
流動負債	14, 261	11.7%		11, 220	10.3%	<b>▲</b> 3, 041	
支払手形及び買掛金 その他流動負債	5, 618 8, 642			5, <b>827</b> 5, 392			
固定負債	15, 237	12.6%		7, 470	6.8%	<b>▲</b> 7, 766	
負債合計	29, 498	24.3%		18, 690	17.1%	<b>▲</b> 10, 808	
資本金 資本剰余金 利益剰余金 その他有価証券評価差額金 為替換算調整勘定 自己株式	4, 317 949 104, 735 2, 478 ▲4 ▲20, 619	3.6% 0.8% 86.3% 2.0% 0.0% ▲17.0%		4, 317 949 105, 294 713 ▲6	3.9% 0.9% 96.4% 0.7% 0.0% ▲19.0%		
資本合計	91, 856	75.7%		90, 544	82.9%	<b>▲</b> 1, 312	
総資産合計	121, 355	100.0%		109, 234	100.0%	<b>▲</b> 12, 120	

#### <当期のポイント>

■流動資産:29.415百万円減

・現金、預金の減少 (30.474百万円減)

·受取手形、売掛金の増加 (2.094百万円増)

・有価証券の減少 (1,210百万円減)

・棚卸資産の増加 (743百万円増)

■固定資産: 17,294百万円増

·有形固定資産の増加 (2,294百万円増)

無形固定資産の増加 (713百万円増)

投資その他の増加 (14,287百万円増)

■ 流動負債: 3.041百万円減

・その他流動負債の減少 (3.249百万円減)

■ 固定負債: 7,766百万円減

・退職給付引当金の減少 (10,380百万円減)

•退職給付制度移行時未払金(2.573百万円増)

### 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>

(単位:百万円)

	01年3月期	02年3月期	03年3月期	04年3月期	04年3月期	
					実 績	増減比
研究開発費	6, 191	6, 031	7, 009	8, 219	12, 698	54.5%
設備投資(計上ベース)	2, 465	2, 507	3, 301	5, 670	6, 172	8.9%
減価償却費	2, 735	3, 213	3, 637	4, 774	3, 894	▲18.4%

06年3月期 (見込み)
10, 400
4, 300
4, 000

#### <設備投資の状況(実績/計画)>

(実績)

能代新製剤工場建設投資、その他生産設備(各工場)

管理,販売設備

研究用設備

05年3月期実績

53億円

6億円

3億円

(計画)

能代新製剤工場建設投資、その他生産設備(各工場)

管理・販売設備

研究用設備

38億円

06年3月期計画

3億円

2億円

### 主要製品売上の状況

		01年3月期	02年3月期	03年3月期	04年3月期	05年3	月期	06年3月期
						実 績	前同比	(見込み)
	<b>キプレス</b> (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	_	31	64	98	118	20.4%	126
	<b>ガチフロ(自社販売)</b> (合成抗菌剤)	-	1	47	17	23	35.3%	26
国 内 新	<b>ムコダイン</b> (去痰剤)	161	175	171	180	190	5.6%	190
国内新薬医療用	<b>バクシダ―ル</b> (合成抗菌剤)	21	17	12	9	7	▲22.2%	5
療用	<b>ケタス</b> (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	75	75	70	70	66	<b>▲</b> 5.7%	67
נו ז	<b>アプレース</b> (抗潰瘍剤)	45	43	34	29	26	▲10.3%	22
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	38	38	30	27	24	▲11.1%	21
	<b>ペンタサ</b> (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	40	45	53	60	64	6.7%	69
- 1		<u>r</u>				Г	Т Т	1
海	海外売上合計	86	121	90	85	88	3.5%	75
外 新 著	<b>ガチフロキサシン</b> (バルク・ロイヤルティ含む)	55	98	51	71	80	12.7%	67
海外新薬医療用	<b>ノルフロキサシン</b> (バルク・ロイヤルティ含む)	23	18	15	11	4	▲63.6%	5
用	海外売上比率	15.8%	20.1%	13.4%	13.4%	13.6%	_	11.6%
ヘルス	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	29	29	30	27	23	▲14.8%	24
ルスケア他								[;
	自社品比率	82.4%	84.0%	86.6%	83.5%	82.2%	_	80.8%

### 主な業績項目の推移:連結

<通期>

	0 1年3月期	0 2 年 3 月期	0 3年3月期	0 4年3月期	05年3月期
<b>売上高</b> (輸出高)	55,832 (8,646)	62,395 (12,127)	68,618 (9,024)	65,061 (8,533)	66,296 (8,838)
<b>売上原価</b> (売上原価率)%	17,974 (32.2%)	<b>19,336</b> (31.0%)	<b>21,205</b> (30.9%)	<b>22,389</b> (34.4%)	<b>22,682</b> (34.2%)
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	<b>28,808</b> (51.6%)	<b>31,101</b> (49.8%)	<b>35,045</b> (51.1%)	<b>33,905</b> (52.1%)	<b>37,747</b> (57.0%)
研究開発費 (研究開発費率)%	<b>6 , 1 9 1</b> (11.1%)	<b>6,031</b> (9.7%)	<b>7,009</b> (10.2%)	<b>8 , 2 1 9</b> (12.6%)	<b>12,698</b> (19.2%)
<b>営業利益</b> (営業利益率)%	<b>9,049</b> (16.2%)	<b>11,957</b> (19.2%)	<b>12,367</b> (18.0%)	<b>8,766</b> (13.5%)	<b>5,866</b> (8.8%)
経常利益 (経常利益率)%	<b>9,786</b> (17.5%)	<b>12,210</b> (19.6%)	<b>12,805</b> (18.6%)	<b>8 , 5 9 7</b> ( 13.2%)	6 , 4 3 0 (9.7%)
当期純利益 (当期純利益率)%	<b>2,951</b> (5.3%)	<b>4,117</b> (6.6%)	<b>4 , 1 2 0</b> (6.0%)	<b>5,692</b> (8.7%)	<b>2,013</b> (3.1%)
一株当たり当期純利益(円)	51.27円	60.55円	47.21円	68.76円	26.48円
資本金	3,623	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	125,476	134,472	139,961	121,355	109,234
株主資本	99,750	102,356	105,318	91,856	90,544
一株当たり株主資本(円)	1, 732.98円	1, 187. 30円	1, 222. 61円	1,234. 80円	1,218. 22円
株主資本利益率 %	3.0%	4.1%	4.0%	5 . 8 %	2.2%
株主資本比率 %	79.5%	76.1%	75.2%	75.7%	82.9%
人員	1,696人	1,731人	1,719人	1,652人	1,703人
設備投資	2,465	2,507	3,301	5,670	6,172
減価償却費	2,735	3,213	3,637	4,774	3,894

(単位:百万円) 0 6年3月期 (見込み) 71,000 (7,500) 10,400 (14.6%) 5,800 (8.2%) 6,200 (8.7%) 3,300 (4.6%) 43.82円 4,317 4,300 4,000

### 損益計算書の概要:単体 -

#### く単体>

(単位:百万円)

	04年3	月期	0 5 年 3 月期				
	実績売上比		実績	売上比	前同比	前年増減額	
売上高	63, 589	100.0%	64, 938	100.0%	2.1%	1, 349	
国内新薬医療用	51, 546	81.1%	52, 820	81.3%	2.5%	1, 274	
海外新薬医療用	8, 533	13.4%	8, 838	13.6%	3.6%	305	
ヘルスケア他	3, 510	5.5%	3, 280	5.1%	<b>▲</b> 6.5%	<b>▲</b> 229	

```
< 当期のポイント> 対前年
売 上 高 64,938百万円 (+13億円)
国内新薬医療用 52,820百万円 (+13億円)
       04.3 実績 05.3 実績
・キプレス 98 118(+20)
・ムコダイン 180 190(+10)
・ケタス 70
             66(4)
・国内医療用その他 25 10(15)
*契約一時金の減少
海外新薬医療用
       8,838百万円 (+ 3億円)
・ガチフロ
     7 1 8 0 ( + 9 )
*アラガン社 点眼剤「ザイマー」堅調
・ ノルフロキサシン 11 4(7)
ヘルスケア他
        3,280百万円 (2億円)
・ミルトン 27
              23(
                  4)
```

### 損益計算書の概要:単体 -

く単体>

(単位:百万円)

	0 4年3	月期		05年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額	
売上高	63, 589	100.0%	64, 938	100.0%	2.1%	1, 349	
売上原価	21, 273	33.5%	21, 653	33.3%	1.8%	379	
売上総利益	42, 315	66.5%	43, 285	66.7%	2.3%	969	
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	33, 515 (8, 219)	52.7% 12.9%	37, 373 (12, 698)	57.6% 19.6%	11.5% (54.5%)	3, 858 (4, 479)	
営業利益	8, 799	13.8%	5, 911	9.1%	▲32.8%	<b>▲</b> 2, 888	
営業外収益 営業外費用	490 914	0.8% 1.4%	502 689	0.8% 1.1%	2.3% <b>Δ</b> 24.6%	11 <b>▲224</b>	
経常利益	8, 376	13.2%	5, 723	8.8%	▲31.7%	<b>▲</b> 2, 652	
特別利益 特別損失	5, 383 4, 506	8.5% 7.1%	1, 792 3, 975	2.8% 6.1%	<b>▲</b> 66.7 <b>▲</b> 11.8%	<b>▲</b> 3, 591 <b>▲</b> 530	
税引前当期純利益	9, 253	14.6%	3, 540	5.5%	<b>▲</b> 61.7%	<b>▲</b> 5, 713	
法人税・住民税 及び事業税	3, 356	5.3%	75	0.1%	_	▲3, 281	
法人税等調整額	385	0.6%	1, 850	2.8%	_	1, 465	
当期純利益	5, 512	8.7%	1, 615	2.5%	<b>▲</b> 70.7%	<b>▲</b> 3, 897	

#### <当期のポイント>

原 価 率:前年比0.2ポイント減少

(33.5% 33.3%)

\*薬価改定(3.7%)の影響や一時金収入の減少は あったものの、原価の低い国内医療用は順調に推移。 野木工場人員約80名の早期退職等により上昇を抑制

研究開発費率:前年比6.7ポイント上昇

(12.9% 19.6%)

\*82億円 127億円(約45億円増加)2 品を申請、 Act ivX社の子会社化

販管費率(除R&D費):前年比1.8ポイント低下 (39.8% 38.0%)

\* 人件費、一般管理費等の削減努力によりR&D除販管費 は約6億円減少

**営業利益 5,911百万円 ( 29億円)** 営業利益率は9.1%と4.7ポイント低下

当期純利益 1,615百万円 (39億円)

特別利益:約18億円

・投資有価証券売却益 (約17億円)

特別損失:約40億円

- ・原末製造設備の除却 (約11億円)
- ・退職給付制度移行損失(約16億円)
- ・特別退職金 (約 4億円)
- ·投資有価証券償却損 (約 3億円)

### 貸借対照表の概要:単体

#### (単位:百万円)

	04年3月	期	(	05年3月期		
	実 績	構成比	実 績	構成比	前期末増減	
流動資産	79, 537	66.5%	49, 096	46.2%	<b>▲</b> 30, 441	
現金および預金	38, 089		6, 823			
受取手形	451		251			
売掛金	21, 699		23, 955			
有価証券	4, 109		2, 899			
棚卸資產	9, 416		10, 181			
その他流動資産	5, 769		4, 986			
固定資産	40, 066	33.5%	57, 168	53.8%	17,101	
有形固定資産	14, 667		16, 623			
無形固定資産	4, 855		5, 569			
投資その他	20, 543		34, 975			
流動負債	13, 875	11.6%	10, 082	9.5%	<b>▲</b> 3, 793	
支払手形	1, 237		1, 236			
買掛金	3, 806		4, 083			
その他流動負債	8, 831		4, 762			
固定負債	15, 184	12.7%	7, 342	6.9%	<b>▲</b> 7, 842	
負債合計	29, 060	24.3%	17, 425	16.4%	<b>▲</b> 11, 635	
資本金	4, 317	3.6%	4, 317	4.1%		
資本剰余金	949	0.8%	949	0.9%		
利益剰余金	103, 462	86.5%	103, 625	97.5%		
その他有価証券評価差額金	2, 430	2.0%	667	0.6%		
自己株式	<b>▲</b> 20, 616	<b>▲</b> 17.2%	<b>▲</b> 20, 720	<b>▲</b> 19.5%		
資本合計	90, 543	75.7%	88, 839	83.6%	<b>▲</b> 1, 704	
~ 総資産合計	119, 604	100.0%	106, 264	100.0%	<b>▲</b> 13, 339	

#### く当期のポイント>

■流動資産:30,441百万円減

·現金、預金の減少 (31.266百万円減)

売掛金の増加 (2.255百万円増)

・その他流動資産の減少 (783百万円減)

■固定資産: 17101百万円増

·有形固定資産の増加 (1.955百万円増)

·無形固定資産の増加 (713百万円増)

・投資その他の増加 (14,432百万円増)

■ 流動負債: 3,793百万円減

・買掛金の増加 (277百万円増)

・その他流動負債の減少 (4,070百万円減)

■ 固定負債: 7,842百万円減

・退職給付引当金の減少 (10,384百万円減)

•退職給付制度移行時未払金 (2,573百万円)

### 主な業績項目の推移:単体

<通期>

	0 1年3月期	0 2 年 3 月期	03年3月期	0 4年3月期	05年3月期
<b>売上高</b> (輸出高)	54,671 (8,646)	61,131 (12,127)	67,293 (9,024)	63,589 (8,533)	64,938 (8,838)
<b>売上原価</b> (売上原価率)%	<b>17,102</b> (31.3%)	<b>18,376</b> (30.1%)	<b>20,230</b> (30.1%)	<b>21,273</b> (33.5%)	<b>21,653</b> (33.3%)
<b>販売費及び一般管理費</b> (販管費率)%	<b>28,589</b> (52.3%)	<b>30,889</b> (50.5%)	<b>34,698</b> (51.6%)	<b>3 3 , 5 1 5</b> (52.7%)	<b>37,373</b> (57.6%)
<b>研究開発費</b> (研究開発費率)%	<b>6 , 1 9 1</b> (11.3%)	6 , 0 3 1 (9.9%)	<b>7,009</b> (10.4%)	<b>8 , 2 1 9</b> (12.9%)	<b>12,698</b> (19.6%)
<b>営業利益</b> (営業利益率)%	<b>8,980</b> (16.4%)	<b>11,865</b> (19.4%)	<b>12,364</b> (18.3%)	<b>8,799</b> (13.8%)	<b>5 , 9 1 1</b> (9.1%)
<b>経常利益</b> (経常利益率)%	<b>9 , 5 2 4</b> ( 17.4% )	<b>11,816</b> (19.3%)	<b>1 2 , 2 4 1</b> ( 18.1%)	<b>8,376</b> (13.2%)	<b>5,723</b> (8.8%)
<b>当期純利益</b> (当期純利益率)%	<b>2,800</b> (5.1%)	<b>3,785</b> (6.2%)	<b>3,633</b> (5.3%)	<b>5,512</b> (8.7%)	<b>1,615</b> (2.5%)
一株当たり当期純利益(円)	48.65円	55.67円	41.63円	66.59円	21.19円
資本金	3,623	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	124,798	133,427	138,484	119,604	106,264
株主資本	99,482	101,703	104,191	90,543	88,839
一株当たり株主資本(円)	1, 728.19円	1, 179.73円	1, 209. 54円	1, 217. 09円	1, 195. 26円
株主資本利益率 %	2.8%	3.8%	3.5%	5.7%	1.8%
株主資本比率 %	79.7%	76.2%	75.2%	75.7%	83.6%
人員	1,648人	1,671人	1,658人	1,597人	1,619人
設備投資	2,465	2,507	3,301	5,668	6,171
減価償却費	2,730	3,207	3,626	4,763	3,883

(単位:百万円)

06年3月期 (見込み)
64,800 (7,500)
10,200
(15.7%) <b>5,500</b>
(8.5%) <b>5,600</b>
3,000
39.84円
4,317
4,200
3,700